

Syllabus

行政法律科

授業科目	ビジネス実践力	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人になるうえでの基礎力となる自己管理能力・協調行動力・IT 活用力・海外行動力に関する基礎知識を幅広く身につけることを目的とする。</p> <p>【概要】 社会人に求められる基礎能力をそれぞれの状況に応じ体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT 活用力、海外行動力の重要性を理解する。</p> <p>学習で学んだ知識を生活の中で実践する。</p> <p>自己管理能力検定・協調行動力検定・IT 活用力検定・海外行動力検定に合格する。</p>				
授業内容	回 01：自己管理能力とは 02：社会人基礎力について 03：自己考察/自分流計画シートの書き方 04：ウィークリーページの使い方/マンスリーシートの使い方 05：個人生活と社会生活/教育基本法と理想の国民像 06：形成者としての行動センス/グローバル社会における協調行動力 07：コミュニケーション/身だしなみ・立ち居振る舞いのセンス 08：行動と時間/就業規則・職場組織と人間関係 09：タブレット端末の環境設定 10：アプリケーションソフトの活用 11：クラウドサービスとの連携 12：情報セキュリティ/情報モラル 13：海外行動 14：国際通貨 15：基本英会話	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	名古屋大原学園 自己管理能力検定テキスト・協調行動力検定テキスト・IT 活用力検定テキスト・海外行動力検定テキスト				
成績基準	検定試験の結果 80%出席率 20%				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	社会科学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>2. 統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>3. 学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	回		回		
	01：政治の基本概念		16：		
	02：政治制度論		17：		
	03：政治過程論		18：		
	04：日本国憲法の特徴		19：		
	05：基本的人権総論		20：		
	06：包括的基本権		21：		
	07：平等権		22：		
	08：自由権		23：		
	09：社会権		24：		
	10：能動的権利と受益権		25：		
	11：国会の機構と運営		26：		
	12：内閣の機構と運営		27：		
	13：裁判所の機構と運営		28：		
	14：地方自治		29：		
	15：基礎法学		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 政治				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や、分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 経済社会や経済史についての知識を身に付ける。</p> <p>2. 経済社会や経済史について説明ができる。</p> <p>3. 現代社会に関する基礎的な分析力を身につける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：経済社会の変容と経済体制		16：		
	02：現代の企業		17：		
	03：市場メカニズム		18：		
	04：市場の失敗		19：		
	05：国民所得		20：		
	06：経済成長と景気循環		21：		
	07：通貨制度		22：		
	08：金融政策		23：		
	09：財政制度		24：		
	10：財政政策		25：		
	11：貿易と外国為替		26：		
	12：日本経済①石油危機まで		27：		
	13：日本経済②石油危機後		28：		
	14：国際通貨・金融体制		29：		
	15：地域的経済統合		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 経済				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	社会科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通しての世の中の諸問題を学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 現代社会について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 社会理論や社会問題についての知識を身に付ける。</p> <p>2. 社会理論や社会問題について説明ができる。</p> <p>3. 現代社会に関する基礎的な分析力を身につける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：社会集団・社会変動		16：		
	02：現代社会・パーソナリティ		17：		
	03：労働法規		18：		
	04：日本の労働状況		19：		
	05：社会保障制度		20：		
	06：社会保障の状況		21：		
	07：日本の環境問題		22：		
	08：地球環境問題		23：		
	09：国際社会と国際法		24：		
	10：国際機関		25：		
	11：国際情勢		26：		
	12：消費者保護		27：		
	13：医療・健康問題		28：		
	14：社会不安・教育問題		29：		
	15：科学技術・職業・農業		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 社会				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	社会科学演習 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、社会科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 政治分野の基本知識の整理</p> <p>2. 経済分野の基本知識の整理</p> <p>3. 現代社会分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	回		回		
	01：政治制度論演習		16：		
	02：政治過程論演習		17：		
	03：明治憲法と日本国憲法の相違点		18：		
	04：包括的基本権演習		19：		
	05：自由権演習		20：		
	06：社会権演習		21：		
	07：統治機構演習 1		22：		
	08：統治機構演習 2		23：		
	09：現代の企業演習		24：		
	10：市場メカニズム演習		25：		
	11：国民所得演習		26：		
	12：景気循環演習		27：		
	13：通貨制度演習		28：		
	14：金融政策演習		29：		
	15：財政制度・政策演習		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	社会科学演習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、社会科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 政治分野の基本知識の整理</p> <p>2. 経済分野の基本知識の整理</p> <p>3. 現代社会分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	回		回		
	01：外国為替演習		16：		
	02：日本経済演習		17：		
	03：国際通貨・金融体制演習		18：		
	04：地域的経済統合演習		19：		
	05：労働法規演習		20：		
	06：労働状況演習		21：		
	07：社会保障制度演習 1		22：		
	08：社会保障制度演習 2		23：		
	09：環境問題演習 1		24：		
	10：環境問題演習 2		25：		
	11：国際機関演習		26：		
	12：国際情勢演習		27：		
	13：消費者保護演習		28：		
	14：医療・健康問題演習		29：		
	15：科学技術・職業・農業演習		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 101%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や遺伝子のしくみを学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物や植物についての知識を身に付ける。 2. 生態系の成り立ちについて説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。 				
授業内容	回		回		
	01：細胞と細胞膜のはたらき		16：		
	02：染色体と細胞分裂		17：		
	03：酵素・呼吸		18：		
	04：同化作用・消化作用		19：		
	05：生殖と発生		20：		
	06：メンデルの法則		21：		
	07：染色体と遺伝現象		22：		
	08：遺伝子の本体と異変		23：		
	09：神経系とそのはたらき		24：		
	10：刺激の受容と反応		25：		
	11：循環系・防衛反応		26：		
	12：肝臓・腎臓・ホルモン		27：		
	13：動植物の調節		28：		
	14：生物の集団		29：		
	15：生物の進化と系統		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 生物				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	自然科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 地球や地球を取り巻く環境、宇宙について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 地球や地球を取り巻く環境についての知識を身に付ける。 2. 地球や地球を取り巻く環境について説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：地球の形と大きさについて 02：プレートテクトニクスについて 03：地震について 04：火成岩について 05：堆積岩・変成岩について 06：大気圏について 07：断熱変化について 08：風について 09：高気圧、低気圧、前線について 10：日本の四季の特徴について 11：地球の自転、公転について 12：日周運動、年周運動について 13：惑星について 14：惑星現象について 15：恒星について	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 地学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	自然科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物質とその変化について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 物質とその変化についての知識を身に付ける。 2. 物質とその変化について説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：周期表、物質の分類について 02：化学の基本法則、原子の構造 03：物質の量、化学結合 04：状態変化 05：気体の性質 06：液体の性質 07：コロイド 08：熱の種類、化学平衡 09：酸・塩基、中和 10：酸化還元 11：イオン化傾向 12：電気分解 13：無機化合物の性質 14：有機化合物の性質 15：生活環境の化学	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 化学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	自然科学Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理の基本的な概念や原理・法則を身に付ける 2. 物理の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。 				
授業内容	回		回		
	01：運動の表現		16：		
	02：重力下での運動		17：		
	03：力のつり合い、摩擦力		18：		
	04：浮力、弾性力		19：		
	05：滑車、モーメント		20：		
	06：運動方程式		21：		
	07：仕事		22：		
	08：エネルギー		23：		
	09：運動量		24：		
	10：熱		25：		
	11：波動		26：		
	12：電流と電圧		27：		
	13：電圧、コンデンサー		28：		
	14：電気と磁界		29：		
	15：原子核崩壊		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 物理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	自然科学演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、自然科学 I ～ V の理解を深める。</p> <p>【概要】 自然科学の問題演習をする。</p>				
到達目標	<p>1. 自然科学の知識を深める。</p> <p>2. 科学的な見方、考え方を定着させる。</p> <p>3. 科学的な見方、考え方をを応用できるようになる。</p>				
授業内容	回		回		
	01 : 生物の問題演習①		16 :		
	02 : 生物の問題演習②		17 :		
	03 : 生物の問題演習③		18 :		
	04 : 地学の問題演習①		19 :		
	05 : 地学の問題演習②		20 :		
	06 : 地学の問題③		21 :		
	07 : 化学の問題演習①		22 :		
	08 : 化学の問題演習②		23 :		
	09 : 化学の問題③		24 :		
	10 : 物理の問題演習①		25 :		
	11 : 物理の問題演習②		26 :		
	12 : 物地の問題③		27 :		
	13 : 数学の問題演習①		28 :		
	14 : 数学の問題演習②		29 :		
	15 : 数学の問題③		30 :		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 答案練習				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける</p> <p>2. 日本の歴史上の出来事を説明できる</p> <p>3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	回		回		
	01：飛鳥、奈良時代		16：		
	02：平安時代		17：		
	03：鎌倉時代（前期）		18：		
	04：鎌倉時代（後期）		19：		
	05：室町時代		20：		
	06：戦国時代・織豊政権 1		21：		
	07：戦国時代・織豊政権 2		22：		
	08：江戸時代（武断政治、文治政治）		23：		
	09：江戸時代（三大改革）		24：		
	10：江戸時代（幕末）		25：		
	11：明治時代（明治維新）		26：		
	12：明治時代（自由民権運動）		27：		
	13：明治時代（日清・日露戦争）		28：		
	14：大正時代		29：		
	15：戦前・戦後		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 日本史				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことで、世界に対する知識や多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 世界の歴史について理解する</p> <p>2. 世界の歴史から各国の多様な考えを理解する</p> <p>3. 歴史や各国の考え方を理解したうえで、現代の世界的な問題を捉える</p>				
授業内容	回		回		
	01：古代文明		16：		
	02：東洋史①		17：		
	03：東洋史②		18：		
	04：東洋史③		19：		
	05：イスラム史		20：		
	06：西洋史（古代）		21：		
	07：西洋史（中世）		22：		
	08：西洋史（近代）		23：		
	09：西洋史（16～18世紀）①		24：		
	10：西洋史（16～18世紀）②		25：		
	11：西洋史（19世紀）①		26：		
	12：西洋史（19世紀）②		27：		
	13：西洋史（20世紀前半）		28：		
	14：戦後の歴史①		29：		
	15：現代史		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 世界史				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>1 世界の地形、気候</p> <p>2. 世界の資源や産業、世界の生活と地域、日本の国土や人口、産業について</p> <p>3. 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	回		回		
	01：世界の大地形、小地形		16：		
	02：特殊な地形と陸水、海洋について		17：		
	03：世界の気候①		18：		
	04：世界の気候②		19：		
	05：世界の植生、土壌、地図		20：		
	06：世界の農業、水産業		21：		
	07：世界の工業資源		22：		
	08：世界の工業		23：		
	09：世界の都市機構、人口		24：		
	10：日本の国土、人口、産業		25：		
	11：世界地誌（アジア）		26：		
	12：世界地誌（アフリカ、ヨーロッパ①）		27：		
	13：世界地誌（ヨーロッパ②）		28：		
	14：世界地誌（ロシア、北アメリカ）		29：		
	15：世界地誌（南アメリカ、オセアニア）		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 地理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各階の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	人文科学演習 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、人文科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 日本史分野の基本知識の整理</p> <p>2. 世界史分野の基本知識の整理</p> <p>3. 地理分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	回		回		
	01：飛鳥、奈良時代の演習		16：		
	02：平安時代の演習		17：		
	03：鎌倉時代演習		18：		
	04：室町時代演習		19：		
	05：戦国時代・織豊政権演習		20：		
	06：江戸時代演習 1		21：		
	07：江戸時代演習 2		22：		
	08：明治時代演習 1		23：		
	09：明治時代演習 2		24：		
	10：大正時代演習		25：		
	11：東洋史演習		26：		
	12：イスラム史演習		27：		
	13：西洋史演習 1		28：		
	14：西洋史演習 2		29：		
	15：西洋史演習 3		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	人文科学演習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、人文科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 日本史分野の基本知識の整理</p> <p>2. 世界史分野の基本知識の整理</p> <p>3. 地理分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	回		回		
	01：戦後演習		16：		
	02：現代史演習		17：		
	03：特殊な地形と陸水、海洋演習		18：		
	04：世界の気候演習①		19：		
	05：世界の気候演習②		20：		
	06：世界の植生、土壌、地図演習		21：		
	07：世界の農業、水産業演習		22：		
	08：世界の工業資源演習		23：		
	09：世界の工業演習		24：		
	10：世界の都市機構、人口演習		25：		
	11：日本の国土、人口、産業演習		26：		
	12：世界地誌演習 1		27：		
	13：世界地誌演習 2		28：		
	14：世界地誌演習 3		29：		
	15：世界地誌演習 4		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 101%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	数的処理 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>2. 合理的思考力を身に付ける</p> <p>3. 合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回		回		
	01：四則演算		16：		
	02：整数①		17：		
	03：整数②		18：		
	04：割合①		19：		
	05：割合②		20：		
	06：方程式①		21：		
	07：方程式②		22：		
	08：速さ①		23：		
	09：速さ②		24：		
	10：仕事算①		25：		
	11：仕事算②		26：		
	12：場合の数①		27：		
	13：場合の数②		28：		
	14：確率①		29：		
	15：確率②		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 98%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	3学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>2. 合理的思考力を身に付ける</p> <p>3. 合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回 01：整数① 02：整数② 03：割合① 04：割合② 05：方程式① 06：方程式② 07：速さ① 08：速さ② 09：仕事算① 10：仕事算② 11：場合の数① 12：場合の数② 13：確率① 14：確率② 15：総合問題	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 99%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 記号化させて問題を解くことができる。</p> <p>2. 作図をして問題を解くことができる。</p> <p>3. 作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	回 01：論理（基礎） 02：集合ベン図（基礎） 03：集合キャロル図（基礎） 04：順序（基礎） 05：対応（基礎） 06：位置（基礎） 07：方位（基礎） 08：勝敗トーナメント（基礎） 09：勝敗リーグ（基礎） 10：カード（基礎） 11：ゲーム（基礎） 12：ウソの発言（基礎） 13：推理（基礎） 14：手順（基礎） 15：暗号（基礎）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き解法（応用）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 記号化させて問題を解くことができる。</p> <p>2. 作図をして問題を解くことができる。</p> <p>3. 作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	回 01：論理（応用） 02：集合ベン図（応用） 03：集合キャロル図（応用） 04：順序（応用） 05：対応（応用） 06：位置（応用） 07：方位（応用） 08：勝敗トーナメント（応用） 09：勝敗リーグ（応用） 10：カード（応用） 11：ゲーム（応用） 12：ウソの発言（応用） 13：推理（応用） 14：手順（応用） 15：暗号（応用）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	数的処理Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して基本的な空間認知力を養い、平面幾何学の基礎を学ぶ</p> <p>【概要】 空間把握の問題を解き解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 平面図形（二次元）を正しく把握する</p> <p>2. 空間図形（三次元）を正しく理解する</p> <p>3. 空間把握力を日常生活に活用する</p>				
授業内容	回		回		
	01：軌跡①（基礎）		16：		
	02：軌跡②（基礎）		17：		
	03：平面構成①（基礎）		18：		
	04：平面構成②（基礎）		19：		
	05：正多面体（基礎）		20：		
	06：展開図①（基礎）		21：		
	07：展開図②（基礎）		22：		
	08：立体構成①（基礎）		23：		
	09：立体構成②（基礎）		24：		
	10：立体構成③（基礎）		25：		
	11：平面図形の計量①（基礎）		26：		
	12：平面図形の計量②（基礎）		27：		
	13：平面図形の計量③（基礎）		28：		
	14：立体図形の計量①（基礎）		29：		
	15：立体図形の計量②（基礎）		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 図形				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	数的処理VI	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して発展的な空間認知力を養い、平面幾何学の応用を学ぶ</p> <p>【概要】 空間把握の問題を解き解法（応用）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 平面図形（二次元）を正しく把握する</p> <p>2. 空間図形（三次元）を正しく理解する</p> <p>3. 空間把握力を日常生活に活用する</p>				
授業内容	回		回		
	01：軌跡①（応用）		16：		
	02：軌跡②（応用）		17：		
	03：平面構成①（応用）		18：		
	04：平面構成②（応用）		19：		
	05：正多面体（応用）		20：		
	06：展開図①（応用）		21：		
	07：展開図②（応用）		22：		
	08：立体構成①（応用）		23：		
	09：立体構成②（応用）		24：		
	10：立体構成③（応用）		25：		
	11：平面図形の計量①（応用）		26：		
	12：平面図形の計量②（応用）		27：		
	13：平面図形の計量③（応用）		28：		
	14：立体図形の計量①（応用）		29：		
	15：立体図形の計量②（応用）		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 図形				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	資料解釈	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して複数の資料やデータから導きだされるものを学ぶ</p> <p>【概要】 図表やグラフの見方を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 資料を正しく理解する</p> <p>2. 計算力を鍛える</p> <p>3. 資料を読み解く力を実生活に活用する</p>				
授業内容	回		回		
	01：概算方法		16：		
	02：実数資料①		17：		
	03：実数資料②		18：		
	04：実数資料③		19：		
	05：構成比資料①		20：		
	06：構成比資料②		21：		
	07：構成比資料③		22：		
	08：指数資料①		23：		
	09：指数資料②		24：		
	10：指数資料③		25：		
	11：増加率資料①		26：		
	12：増加率資料②		27：		
	13：増加率資料③		28：		
	14：その他の資料①		29：		
	15：その他の資料②		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 資料解釈				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	数的処理演習基礎	授業形態	講義	区分	必修
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して判断力・推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 数的処理の問題演習をする。</p>				
到達目標	<p>1. 数的処理の問題を解く事ができる。</p> <p>2. 合理的思考力を高める。</p> <p>3. 正確なデータ整理と分析枠組みを習得する</p>				
授業内容	回		回		
	01：整数の基礎問題		16：		
	02：割合の基礎問題		17：		
	03：方程式の基礎問題		18：		
	04：速さ、仕事の基礎問題		19：		
	05：場合の数、確率の基礎問題		20：		
	06：集合、論理の基礎問題		21：		
	07：対応、順序の基礎問題		22：		
	08：位置、方位の基礎問題		23：		
	09：勝敗、うその発言の基礎問題		24：		
	10：カード、ゲーム、推理手順、暗号の基礎問題		25：		
	11：平面図形の基礎問題		26：		
	12：正多面体、展開図の基礎問題		27：		
	13：空間図形の基礎問題		28：		
	14：図形の計量（平面図形）の基礎問題		29：		
	15：図形の計量（空間図形）の基礎問題		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 101%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	数的処理演習応用	授業形態	講義	区分	必修
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して判断力・推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 数的処理の問題演習をする。</p>				
到達目標	<p>1. 数的処理の問題を解く事ができる。</p> <p>2. 合理的思考力を高める。</p> <p>3. 正確なデータ整理と分析枠組みを習得する</p>				
授業内容	回 01：整数の応用問題 02：割合の応用問題 03：方程式の応用問題 04：速さ、仕事の応用問題 05：場合の数、確率の応用問題 06：集合、論理の応用問題 07：対応、順序の応用問題 08：位置、方位の応用問題 09：勝敗、うその発言の応用問題 10：カード、ゲーム、推理手順、暗号の応用問題 11：平面図形の応用問題 12：正多面体、展開図の応用問題 13：空間図形の応用問題 14：図形の計量（平面図形）の応用問題 15：図形の計量（空間図形）の応用問題	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 101%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	文章理解基礎	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身につける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法（現代文・英文）と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 現代文の読解ができる。 2. 簡単な英文の読解ができる。 3. 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：国語文法 02：内容把握問題（主旨・要旨把握問題） 03：内容把握問題（内容合致問題） 04：文章整序問題 05：空欄補充問題 06：英文の解法 07：西洋思想の源流（ギリシアの思想） 08：西洋の近代思想（経験論と合理論） 09：西洋の近代思想（社会契約説・功利主義） 10：西洋の近代思想（ドイツ観念論） 11：現代思想 12：東洋思想 13：日本の思想（鎌倉仏教） 14：日本の思想（日本の儒学・民衆の思想） 15：日本の近代思想	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 文章理解 資格の大原公務員講座 思想倫理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	文章理解演習	授業形態	講義	区分	必修
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して文章理解の解答力を養う。</p> <p>【概要】 文章理解の演習</p>				
到達目標	<p>1. 現代文の長文読解ができる。</p> <p>2. 英文の読解ができる。</p> <p>3. 様々な思想家・哲学者の考え方を理解する。</p>				
授業内容	回 01：国語文法応用 02：内容把握問題応用（主旨・要旨把握問題） 03：内容把握問題応用（内容合致問題） 04：文章整序問題応用 05：空欄補充問題応用 06：英文の解法応用 07：西洋思想の源流（ギリシアの思想）応用 08：西洋の近代思想（経験論と合理論）応用 09：西洋の近代思想（社会契約説・功利主義）応用 10：西洋の近代思想（ドイツ観念論）応用 11：現代思想応用 12：東洋思想応用 13：日本の思想応用（鎌倉仏教） 14：日本の思想応用（日本の儒学・民衆の思想） 15：日本の近代思想応用	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 文章理解 資格の大原公務員講座 思想倫理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 101%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	コミュニケーションスキル I	授業形態	演習	区分	必修
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	15	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して面接力や人物器量を鍛える</p> <p>【概要】 面接練習</p>				
到達目標	<p>1. 面接力の向上</p> <p>2. 自己分析をする</p> <p>3. 品格を鍛える</p>				
授業内容	回 01：求められる人物像について 02：面接シートの書き方指導 03：自己分析① 04：自己分析② 05：面接シートの作成 06：集団面接練習① 07：集団面接練習② 08：集団面接練習③ 09：個人面接練習① 10：個人面接練習② 11：個人面接練習③ 12：個人面接練習④ 13：効果測定① 14：効果測定② 15：効果測定③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定における評価 70%出席率 30%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	コミュニケーションスキルⅡ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2	時期	2学期		
授業回数	15	単位時間数	15	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通してディベートについて学ぶ</p> <p>【概要】 集団討論練習</p>				
到達目標	<p>1. 討論力の向上</p> <p>2. 多様な考え方を理解する</p> <p>3. 協調性と問題解決力を養う</p>				
授業内容	回 01：集団討論とは 02：「是か非か」型を学ぶ 03：「是か非か」討論練習① 04：「是か非か」討論練習② 05：「是か非か」討論練習③ 06：「自由討論」型を学ぶ 07：「自由討論」討論練習① 08：「自由討論」討論練習② 09：「自由討論」討論練習③ 10：「問題解決」型を学ぶ 11：「問題解決」討論練習① 12：「問題解決」討論練習② 13：「問題解決」討論練習③ 14：総合練習① 15：総合練習②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定における評価 70%出席率 31%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科

授業科目	コミュニケーションスキルⅢ	授業形態	演習	区分	選択
年次	2	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	15	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 プレゼンテーションの作成・発表を通して、情報収集力・わかりやすく資料をまとめる力・話す力・聞く力を磨く。</p> <p>【概要】 年間を通じてプレゼンテーションの作成・発表を行う。</p>				
到達目標	<p>1. プレゼンテーションの必要性を理解する。</p> <p>2. プレゼンテーションに必要な機器やアプリが操作できる。</p> <p>3. 他者に伝わるプレゼンテーションができる。</p>				
授業内容	回 01：プレゼンとは、必要性 02：keynote の操作方法 03：準備① 04：発表①-1 05：発表①-2 06：発表①-3 07：全体発表① 08：発表②-1 09：発表②-2 10：発表②-3 11：全体発表② 12：発表③-1 13：発表③-2 14：発表③-3 15：全体発表③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	発表による評価 80%出席 20%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科

授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	演習	区分	必修
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	15	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。</p> <p>立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。</p> <p>基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	回 01：職場のマナー 02：仕事の進め方 03：挨拶と敬語① 04：挨拶と敬語② 05：電話応対マナー 06：電話を取り次げない場合 1（不在・外出） 07：電話を取り次げない場合 2（休暇・出張） 08：電話を取り次げない場合 3（電話中） 09：電話を取り次げない場合 4（その他） 10：電話を取り次げない場合 5（伝言・メモの書き方） 11：電話の掛け方の基本 12：電話の受け方応用（道案内等） 13：電話応対のロールプレイ 1 14：電話応対のロールプレイ 2 15：電話応対のロールプレイ 3	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する				
成績基準	期末テスト 60% ロールプレイング 30% 出席率 10%(出席率 80%以上)				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	簿記原理	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、中小企業レベルの記帳から決算の処理までを身につける。</p> <p>【概要】 日本商工会議所簿記検定3級を通して、中小企業レベルの記帳から財務諸表の作成までを学ぶ</p>				
到達目標	<p>中小企業レベルの主要簿作成ができる</p> <p>中小企業レベルの決算処理と財務諸表作成ができる</p> <p>日本商工会議所簿記検定の3級を合格する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記の目的・損益計算書と貸借対照表・取引と仕訳</p> <p>02：勘定口座への記入方法・主要簿と補助簿・試算表・決算</p> <p>03：商品売買の記帳法方法</p> <p>04：商品有高帳・現金の記帳方法・当座預金の記帳方法</p> <p>05：小口現金出納帳・手形の記帳方法</p> <p>06：有価証券・有形固定資産・その他の債権及び債務・資本金</p> <p>07：訂正仕訳・試算表の作成・伝票</p> <p>08：決算・売上原価の計算・精算表・貸倒れ引当金</p> <p>09：減価償却・売買目的有価証券の決算整理・繰延べ・見越し</p> <p>10：消耗品および消耗品費・現金過不足、損益計算書および貸借対照表の作成</p> <p>11：総まとめ①（仕訳、個別問題対策）</p> <p>12：総まとめ②（試算表対策）</p> <p>13：総まとめ③（精算表、財務諸表対策）</p> <p>14：模擬試験①②（直前模試1、2回）</p> <p>15：模擬試験③④（直前模試3回、公開模擬試験）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	簿記3級公式テキスト（大原出版）				
成績基準	模擬試験の結果及び課題提出状況				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	簿記通論	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	回		回		
	01：簿記一巡の手続き		16：		
	02：株式会社会計		17：		
	03：商品売買		18：		
	04：現金及び預金		19：		
	05：債権及び債務 1		20：		
	06：債権及び債務 2		21：		
	07：有価証券及び有形固定資産		22：		
	08：収益及び費用		23：		
	09：税金		24：		
	10：決算		25：		
	11：決算整理 1		26：		
	12：決算整理 2		27：		
	13：決算整理 3		28：		
	14：損益計算書		29：		
	15：貸借対照表		30：		
テキスト 参考文献	大原学園「ALFA 3 商業簿記テキスト」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

行政法律科

授業科目	3級総合	授業形態	演習	区分	選択
年次	2	時期	3学期		
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 日商簿記3級の実践問題演習を通して、検定試験に合格する能力を身につける。</p> <p>【概要】 日商簿記3級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 日商簿記3級レベルの仕訳及び勘定口座への記入ができる。</p> <p>2. 日商簿記3級レベルの試算表や財務諸表の作成ができる。</p> <p>3. 日商簿記検定3級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	回 01：仕訳問題演習1 02：仕訳問題演習2 03：仕訳問題演習3 04：補助簿演習1 05：補助簿演習2 06：試算表演習1 07：試算表演習2 08：試算表演習3 09：精算表演習1 10：精算表演習2 11：財務諸表演習1 12：財務諸表演習2 13：財務諸表演習3 14：決算整理演習1 15：決算整理演習2	回 16：過去問演習1 17：過去問演習1解説 18：過去問演習2 19：過去問演習2解説 20：過去問演習3 21：過去問演習3解説 22：公開模試 演習 23：公開模試 解説 24：直前答練1回 演習 25：直前答練1回 解説 26：直前答練2回 演習 27：直前答練2回 解説 28：直前答練3回 演習 29：直前答練3回 解説 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	大原学園「日商3級総まとめ」、「公開模試」、「直前答練習」				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	指定した範囲の予習を行うこと				

Syllabus

行政法律科

授業科目	職業実践 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、法に興味関心を持ち法的思考力を身につける。</p> <p>【概要】 私生活と法のかかわりについて講義を中心に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 法とは何かを理解する。</p> <p>2. 法の役割を理解する。</p> <p>3. 法的思考力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：法とは何か 02：法の分類 03：法の形式と機能 04：日常生活と法の関わり 1 05：日常生活と法の関わり 2 06：日常生活と法の関わり 3 07：裁判と法 1 08：裁判と法 2 09：法解釈 10：海外の法 11：事例検討 1 12：事例検討 2 13：事例検討 3 14：事例検討 4 15：総まとめ	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	確認テスト 70%出席率 30%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	職業実践Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、企業・官公庁における様々な職種を知り、自己の職業選択に役立てる。</p> <p>【概要】 公務員ガイドブックや就職ガイドブックを利用した講義</p>				
到達目標	<p>1. 公務員の職種を理解する。</p> <p>2. 民間企業の業界、職種を理解する。</p> <p>3. 就職斡旋規定を理解する。</p>				
授業内容	回 01：就職斡旋規定 1 02：就職斡旋規定 2 03：公務員職種研究 1 04：公務員職種研究 2 05：公務員職種研究 3 06：公務員職種研究 4 07：企業業界説明 1 08：企業業界説明 2 09：企業業界説明 3 10：企業業界研究 11：活動準備 1 12：活動準備 2 13：活動準備 3 14：活動準備 4 15：官公庁・企業説明会	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園 【就職ガイドブック】【公務員ガイドブック】				
成績基準	期末試験 70% 出席率 30%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科

授業科目	職業実践Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 公務員倫理規定等を学ぶ中で公務員制度、役割等を理解する。</p> <p>【概要】 公務員倫理規定を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 公務員制度の仕組みを理解する</p> <p>2. 公務員の立場、役割を理解する</p> <p>3. 志望官公庁や動機を明確にする</p>				
授業内容	回		回		
	01：公務員制度概要（国家公務員）		16：		
	02：公務員制度概要（地方公務員）		17：		
	03：行政機関とは		18：		
	04：勤務体系		19：		
	05：義務 1		20：		
	06：義務 2		21：		
	07：分限処分と懲戒処分の違い		22：		
	08：事例紹介 1		23：		
	09：事例紹介 2		24：		
	10：必要な資質、能力について		25：		
	11：公務員として働く責任		26：		
	12：市民との関わり		27：		
	13：制度改革歴史		28：		
	14：制度改革		29：		
	15：総まとめ		30：		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	レポート 70&出席率 30%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	職業実践Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して自助力、共助力を身に付け、災害から自身と地域を守る人材になること。</p> <p>【概要】 防災に関する知識を習得し、災害から身を守る力を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 災害、防災概論 2. 災害発生前の準備について 3. 災害発生時、発生後について</p>				
授業内容	回		回		
	01：自然的災害について		16：		
	02：人為的災害について		17：		
	03：社会的災害について		18：		
	04：自助、共助、公助について		19：		
	05：避難行動について		20：		
	06：地域の防災組織について		21：		
	07：被害想定、ハザードマップについて		22：		
	08：防災計画と企業防災について		23：		
	09：災害時派遣組織と内容について		24：		
	10：防災用品と家族防災会議について		25：		
	11：防災訓練について		26：		
	12：地震、津波、風水害、土砂、火災時の行動について		27：		
	13：救助活動について（ロープ、応急手当、活動手順）		28：		
	14：避難所での生活について（HUGを実施）		29：		
	15：総まとめと学習の活かし方（ICS）		30：		
テキスト 参考文献	公益財団法人日本ケアフィット共育機構 防災介助士資格取得講座テキスト				
成績基準	確認テスト 70%出席率 30%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	職業実践Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、犯罪や事故から身を守る力を身に付ける。</p> <p>【概要】 刑法の基礎と防犯に関する知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 刑法総論、窃盗罪の構成要件および窃盗罪等に関する防犯知識を身に付ける。</p> <p>2. グループワーク（プレゼンテーション作成）と、詐欺やインターネット犯罪、薬物事犯に関する知識と防犯知識を身に付ける。</p> <p>3. グループワーク（プレゼンテーション作成）と発表。</p>				
授業内容	回 01：刑法総論 02：刑法各論（窃盗、強盗、遺失物横領） 03：乗り物盗に関する防犯知識 04：ひったくり、侵入盗に関する防犯知識 05：グループワーク（プレゼンテーション作成）「テーマ ー 定の予算で一戸建てに防犯措置をするなら」 06：プレゼンテーション発表 07：プレゼンテーション発表 08：刑法、特別法各論（詐欺、インターネット犯罪） 09：詐欺、インターネット犯罪に関する防犯知識 10：特別法（薬物事犯）道路交通法各論 11：薬物事犯、交通事故に対する防犯知識 12：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例 を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 13：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例 を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 14：プレゼンテーション発表 15：プレゼンテーション発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 刑法 ムック 防犯バイブル 2016				
成績基準	確認テスト 70%出席率 30%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	職業実践VI	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 各自治体の取組内容を学ぶことでそれぞれの自治体がおかれている状況、課題を理解する。</p> <p>【概要】 各自治体の政策研究を行い、プレゼンテーションで発表する。</p>				
到達目標	<p>1. 政策研究を行い、自治体ごとの課題を知る</p> <p>2. 研究の中で得た知識を志望動機につなげる。</p> <p>3. 魅力的な政策をプレゼンテーションにて発表</p>				
授業内容	回		回		
	01：自治体の政策とは		16：		
	02：政策紹介 1		17：		
	03：政策紹介 2		18：		
	04：政策紹介 3		19：		
	05：政策研究 1		20：		
	06：政策研究 2		21：		
	07：政策研究 3		22：		
	08：スライド作成 1		23：		
	09：スライド作成 2		24：		
	10：スライド作成 3		25：		
	11：スライド作成 4		26：		
	12：発表準備 1		27：		
	13：発表準備 2		28：		
	14：発表準備 3		29：		
	15：研究発表		30：		
テキスト 参考文献	自治体広報及び HP				
成績基準	研究発表における評価 100%				
準備学習の 内容	受験先の自治体について事前検討しておくことが望ましい。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	職業実践Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 課外活動を答して、名古屋市の街づくりについて学ぶと共に、必要な街づくりとは何かを理解する。</p> <p>【概要】 テーマに沿った街づくりの研究及び課外活動による実地調査を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 自治体と協力し、街づくりの基本を学ぶ</p> <p>2. 各地のイベントに参加する中で、奉仕者としての立場を学ぶ。</p> <p>3. 街づくりの課題を考察し、プレゼンテーションで発表する。</p>				
授業内容	回 01：オリエンテーション 02：テーマ事前研究 1 03：テーマ事前研究 2 04：テーマ事前研究 3 05：テーマに基づく実地調査 1 06：テーマに基づく実地調査 2 07：振り返り 1 08：振り返り 2 09：スライド作成 1 10：スライド作成 2 11：スライド作成 3 12：発表準備 1 13：発表準備 2 14：発表準備 3 15：研究発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	研究発表における評価 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科

授業科目	卒業実践研究	授業形態	講義	区分	必修
年次	2	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 学生生活を通じて関心を持った事柄に対して、様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p>【概要】 情報収集、分析を行ったうえでスライド作成、発表を行う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発表にふさわしい題材の選出 2. 社会人を意識したプレゼン発表 3. 見る側を意識したスライド作成 				
授業内容	回		回		
	01：題材研究 1		16：		
	02：題材研究 2		17：		
	03：題材研究 3		18：		
	04：原稿作成 1		19：		
	05：原稿作成 2		20：		
	06：原稿作成 3		21：		
	07：原稿作成 4		22：		
	08：スライド作成 1		23：		
	09：スライド作成 2		24：		
	10：スライド作成 3		25：		
	11：スライド作成 4		26：		
	12：スライド作成 5		27：		
	13：発表練習 1		28：		
	14：発表練習 2		29：		
	15：研究発表		30：		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	研究発表における評価 100%				
準備学習の 内容	研究課題を事前検討				

Syllabus

行政法律科

授業科目	憲法 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法における人権規定の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 日本国憲法の人権規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 人権規定における役割を理解できる。</p> <p>2. 各種人権規定に係わる判例、学説を理解する。</p> <p>3. 講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	回 01：憲法概説 02：人権総論 03：人権享有主体 1 04：人権享有主体 2 05：特別権力関係・私人間効力 06：幸福追求権 07：平等原則 08：精神的自由権 1 09：精神的自由権 2 10：経済的自由権 11：人身の自由 12：社会権 1 13：社会権 2 14：参政権 15：請願権・受益権	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	憲法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法の統治機構規定を理解する。</p> <p>【概要】 日本国憲法の統治機構規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 統治機構の役割を理解する。</p> <p>2. 三権相互の関係を理解する。</p> <p>3. 講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	回 01：統治機構の基本原理 02：国会 1 03：国会 2 04：国会 3 05：内閣 1 06：内閣 2 07：裁判所 1 08：裁判所 2 09：裁判所 3 10：財政 11：地方自治 1 12：地方自治 2 13：憲法改正・憲法の変遷 14：天皇 15：平和主義と第 9 条	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	憲法演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、憲法の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 人権規定に係わる条文・判例知識の整理</p> <p>2. 統治機構規定に係わる条文・判例知識の整理</p> <p>3. 出題される問題の正答率 70%</p>				
授業内容	回		回		
	01：人権総論演習 1		16：		
	02：人権総論演習 2		17：		
	03：精神的自由権演習 1		18：		
	04：精神的自由権演習 2		19：		
	05：経済的自由権演習 1		20：		
	06：経済的自由権演習 2		21：		
	07：人身の自由		22：		
	08：社会権演習 1		23：		
	09：社会権演習 2		24：		
	10：参政権、その他人権演習		25：		
	11：統治機構演習 1		26：		
	12：統治機構演習 2		27：		
	13：統治機構演習 3		28：		
	14：統治機構演習 4		29：		
	15：地方自治・その他演習		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 答案練習				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	民法 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、民法典（総則・物権法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として民法典のうち、総則・物権法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法総則のうち、制限行為能力者制度、法人、意思能力、時効を中心に条文規定や、判例ならびに学説について理解できる。</p> <p>2. 物権法のうち、物権総論、各物権規定に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>3. 民法総則、物権法の学習を通じて、幅広い視点から考える力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：民法典の役割、制限行為能力者制度 1 02：制限行為能力者制度 2 03：法人 04：物、無効と取消 05：法律行為 06：代理制度 07：時効制度 08：物権総論 09：不動産物権変動 10：動産物権変動 11：所有権、占有権 12：用益物権 1 13：用益物権 2 14：担保物権 1 15：担保物権 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 民法				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	民法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、民法典（債権法・家族法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として民法典のうち、債権法・家族法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法（債権法）の債権総論及び各論を中心に、条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 家族法につき、法体系や条文知識、判例、学説などを理解する。</p> <p>3. 債権法、家族法の学習を通じて幅広い視点にたって考える力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：債権の目的 02：債務不履行 03：債権者代位権・取消権 04：多数当事者の債権債務関係 1 05：多数当事者の債権債務関係 2 06：債権譲渡 07：債権の消滅 08：契約総論 09：各論 1 10：各論 2 11：契約以外の債権発生原因 12：親族法 1 13：親族法 2 14：相続法 1 15：相続法 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 民法				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	民法演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、民法の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 総則、物権法の規定及び、判例知識の整理</p> <p>2. 債権法、家族法の規定及び判例知識の整理</p> <p>3. 公務員試験に出題される問題の正答率 70%</p>				
授業内容	回		回		
	01：総則演習 1		16：		
	02：総則演習 2		17：		
	03：総則演習 3		18：		
	04：物権法演習 1		19：		
	05：物権法演習 2		20：		
	06：物権法演習 3		21：		
	07：債権法演習 1		22：		
	08：債権法演習 2		23：		
	09：債権法演習 3		24：		
	10：親族法演習 1		25：		
	11：親族法演習 2		26：		
	12：親族法演習 3		27：		
	13：相続法演習 1		28：		
	14：相続法演習 2		29：		
	15：相続法演習 3		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 答案練習				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	行政法 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、行政作用法の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として行政作用法のうち、行政行為、行政強制、行政手続法、情報公開法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 行政行為のうち、行政行為の種別、瑕疵、取消撤回、裁量、付款を中心に条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>2. 行政作用法のうち、行政強制、行政罰を中心に条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>3. 行政作用法のうち、行政手続法、情報公開法に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政行為の種別 02：行政行為の瑕疵 03：行政行為の裁量 04：行政行為の取消撤回 05：行政行為の付款 06：強制執行 07：即時強制、行政調査 08：行政罰 09：申請に対する処分 10：不利益処分 11：聴聞 12：行政指導、届出 13：意見公募手続 14：情報公開法 1 15：情報公開法 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	行政法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、行政救済法、行政組織法の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として行政救済法、行政組織法のうち、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法、国家行政組織法、地方自治法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 行政救済法のうち、行政不服審査法、行政事件訴訟法に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>2. 行政救済法のうち、国家賠償法、損失補償に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>3. 行政組織法のうち、国家行政組織法、地方自治法に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政不服申立ての構造 02：行政不服申立て手続 03：教示制度、裁決決定 04：取消訴訟 05：処分性 06：原告適格 07：狭義の訴えの利益、執行停止 08：その他の行政事件訴訟 09：国家賠償法 1 条 10：国家賠償法 2 条 11：損失補償 12：国家行政組織 13：地方公共団体の事務 14：地方公共団体の機関 15：国と地方公共団体の関係	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	行政法演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、行政法の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>2. 行政救済法のうち、行政不服審査法、行政事件訴訟法に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>3. 行政救済法のうち、国家賠償法、損失補償に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>4. 行政組織法のうち、国家行政組織法、地方自治法に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回		回		
	01：行政不服申立ての構造演習		16：		
	02：行政不服申立て手続演習		17：		
	03：教示制度、裁決決定演習		18：		
	04：取消訴訟演習		19：		
	05：処分性演習		20：		
	06：原告適格演習		21：		
	07：狭義の訴えの利益、執行停止演習		22：		
	08：その他の行政事件訴訟演習		23：		
	09：国家賠償法演習 1		24：		
	10：国家賠償法演習 2		25：		
	11：損失補償演習		26：		
	12：国家行政組織法演習		27：		
	13：地方自治法演習 1		28：		
	14：地方自治法演習 2		29：		
	15：地方自治法演習 3		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 答案練習				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	マクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して国民経済計算や45度線分析、IS・LM分析を学び、経済学の知識を習得する。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済のうち、財市場、貨幣市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>均衡国民所得の計算ができること</p> <p>ISLMモデルが理解できる</p> <p>財貨幣同時均衡を理解できるレベル</p>				
授業内容	回 01：国民経済計算 02：国際収支統計の理解 03：物価指数 04：45度線分析 05：乗数効果 06：乗数モデル 07：IS曲線 08：LM曲線 09：利子弾力性 10：財政政策 11：金融政策 12：政策効果 13：ポリシーミックス 14：計算問題演習 15：総まとめ試験	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 経済学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	マクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通してAD・AS分析や経済成長理論、経済学の知識を習得する。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済のうち、労働市場、国際経済学を中心に学習する。</p>				
到達目標					
授業内容	回 01：為替レート 02：レートの決定理論 03：マンデルフレミングモデル 04：消費理論 05：投資理論 06：成長会計 07：新古典派成長理論 08：労働市場 09：UV曲線 10：ADAS分析 11：フィリップス曲線 12：インフレ需要曲線 13：インフレ供給曲線 14：計算問題演習 15：総まとめ試験	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 経済学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	マクロ経済学演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通してマクロ経済学の知識を習得する。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済の計算問題の理解</p>				
到達目標	<p>4 5 度線モデルの計算ができる</p> <p>I S L Mモデルの計算ができる</p> <p>A D A Sの計算問題ができる</p>				
授業内容	回		回		
	01 : 国民経済計算		16 :		
	02 : 国際収支統計の理解		17 :		
	03 : 物価指数		18 :		
	04 : 4 5 度線分析		19 :		
	05 : 乗数効果		20 :		
	06 : 乗数モデル		21 :		
	07 : I S 曲線		22 :		
	08 : L M 曲線		23 :		
	09 : 利子弾力性		24 :		
	10 : 財政政策		25 :		
	11 : 金融政策		26 :		
	12 : 政策効果		27 :		
	13 : ポリシーミックス		28 :		
	14 : 計算問題演習		29 :		
	15 : 総まとめ試験		30 :		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 経済学				
成績基準	毎回の試験で評価				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	ミクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して国民経済計算や45度線分析、IS・LM分析を学び、経済学の知識を習得する。</p> <p>【概要】 主としてミクロ経済のうち、財市場、貨幣市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>均衡国民所得の計算ができること</p> <p>ISLMモデルが理解できる</p> <p>財貨幣同時均衡を理解できるレベル</p>				
授業内容	回		回		
	01：国民経済計算		16：		
	02：国際収支統計の理解		17：		
	03：物価指数		18：		
	04：45度線分析		19：		
	05：乗数効果		20：		
	06：乗数モデル		21：		
	07：IS曲線		22：		
	08：LM曲線		23：		
	09：利子弾力性		24：		
	10：財政政策		25：		
	11：金融政策		26：		
	12：政策効果		27：		
	13：ポリシーミックス		28：		
	14：計算問題演習		29：		
	15：総まとめ試験		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 経済学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

行政法律科					
授業科目	ミクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通してAD・AS分析や経済成長理論、経済学の知識を習得する。</p> <p>【概要】 主としてミクロ経済のうち、労働市場、国際経済学を中心に学習する。</p>				
到達目標					
授業内容	回 01：為替レート 02：レートの決定理論 03：マンデルフレミングモデル 04：消費理論 05：投資理論 06：成長会計 07：新古典派成長理論 08：労働市場 09：UV曲線 10：ADAS分析 11：フィリップス曲線 12：インフレ需要曲線 13：インフレ供給曲線 14：計算問題演習 15：総まとめ試験	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 経済学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	ミクロ経済学演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	2	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通してミクロ経済学の知識を習得する。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済の計算問題の理解</p>				
到達目標	<p>4 5 度線モデルの計算ができる</p> <p>I S L Mモデルの計算ができる</p> <p>A D A Sの計算問題ができる</p>				
授業内容	回		回		
	01 : 国民経済計算		16 :		
	02 : 国際収支統計の理解		17 :		
	03 : 物価指数		18 :		
	04 : 4 5 度線分析		19 :		
	05 : 乗数効果		20 :		
	06 : 乗数モデル		21 :		
	07 : I S 曲線		22 :		
	08 : L M 曲線		23 :		
	09 : 利子弾力性		24 :		
	10 : 財政政策		25 :		
	11 : 金融政策		26 :		
	12 : 政策効果		27 :		
	13 : ポリシーミックス		28 :		
	14 : 計算問題演習		29 :		
	15 : 総まとめ試験		30 :		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 経済学				
成績基準	毎回の試験で評価				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科

授業科目	政治学	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、政治システムの基礎原理を学ぶ。</p> <p>【概要】 政治の基本原理を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 現代政治の基礎を理解する。</p> <p>2. 政治思想の基礎を理解する。</p> <p>3. 政治体制を理解する。</p>				
授業内容	回		回		
	01：概念と近代国家		16：		
	02：リーダーシップ論		17：		
	03：イデオロギーと政治意識		18：		
	04：マスメディア		19：		
	05：政治過程論 1		20：		
	06：政治過程論 2		21：		
	07：政治制度論 1		22：		
	08：政治制度論 2		23：		
	09：近代政治思想		24：		
	10：社会契約論		25：		
	11：保守主義・功利主義		26：		
	12：自由民主主義		27：		
	13：社会主義		28：		
	14：日本政治思想		29：		
	15：戦後日本政治史		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 政治学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容					

Syllabus

行政法律科

授業科目	行政学	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して行政理論や政策決定を学び、行政システムの基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 行政システムについて学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 行政理論、現代行政について知識を身につける。</p> <p>2. 行政理論、現代行政について説明ができる。</p> <p>3. 学習を通じて日本の行政に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：行政国家と福祉国家 02：行政理論①シュタイン行政学、アメリカ行政学 03：行政理論②正統派行政学 04：組織理論 05：行政組織 06：行政改革 07：官僚制論 08：公務員制度 09：政策形成、政策決定 10：政策実施、政策評価 11：予算・決算制度 12：行政責任・行政統制 13：行政と情報管理、参加 14：地方自治、中央地方関係 15：日本の地方自治	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 行政学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	社会学	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して社会学史や基礎概念、社会調査の方法を学び、自分自身を取り巻く社会の諸問題についての認識・分析能力を身につける。</p> <p>【概要】 歴史・概念・諸問題・社会調査など、社会学について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 社会学の成り立ちを知る。</p> <p>2. 基礎概念について説明できる。</p> <p>3. 社会における諸問題について関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：社会学史（総合社会学） 02：社会学史（社会学主義） 03：社会学史（理解社会学） 04：社会学史（形式社会学） 05：社会学史（機能主義的 sociology） 06：社会学史（相互作用論） 07：社会学史（現代の sociology） 08：基礎概念（社会的性格・文化） 09：基礎概念（階級と階層・社会変動論） 10：社会集団 11：地域社会 12：経営と労働 13：現代的課題（規範・逸脱） 14：現代的課題（現代社会論・マスコミ） 15：社会調査	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 社会学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科					
授業科目	経営学	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、企業における戦略論や組織論を学ぶことで企業経営の枠を超えた知識の習得を目指す</p> <p>【概要】 企業経営における戦略等を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 経営学の歴史を知る</p> <p>2. 企業経営の戦略を知る</p> <p>3. 企業経営の知識を他の経営に応用させる</p>				
授業内容	回 01：伝統管理論 02：人間関係論 03：モチベーション論 04：近代組織論① 05：近代組織論② 06：現代企業論 07：経営組織論① 08：経営組織論② 09：経営戦略論① 10：経営戦略論② 11：日本的経営 12：生産管理・品質管理 13：イノベーション論 14：マーケティング論 15：企業財務論	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 経営学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	会計学	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、企業会計の役割を学び背景にある会計理論を学習する。</p> <p>【概要】 企業会計の基礎、会計基準、会計理論を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記の基本を学び、財務諸表の役割を理解する。</p> <p>2. 企業取引における会計処理手続きを理解する。</p> <p>3. 企業会計原則を中心とする制度会計の役割を理解する。</p>				
授業内容	回		回		
	01：簿記の目的		16：		
	02：商品売買の記帳方法		17：		
	03：特殊商品売買		18：		
	04：株式会社の資本		19：		
	05：決算手続 1		20：		
	06：決算手続 2		21：		
	07：損益会計		22：		
	08：資産会計		23：		
	09：負債会計		24：		
	10：純資産会計		25：		
	11：一般原則		26：		
	12：財務諸表		27：		
	13：親子会社会計		28：		
	14：本支店会計		29：		
	15：為替換算・税効果会計		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 会計学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	一般教養 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して書類文書作成に欠かせない漢字能力を身につける。</p> <p>【概要】 漢字熟語を学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 漢字の読み書きを習得する。</p> <p>2. 四字熟語・ことわざ・故事成語の理解を深める。</p> <p>3. 漢字検定 3 級に合格できる。</p>				
授業内容	回		回		
	01：漢字の読み①		16：		
	02：漢字の読み②		17：		
	03：漢字の書き①		18：		
	04：漢字の書き②		19：		
	05：漢字の書き③		20：		
	06：送りがなのある漢字		21：		
	07：部首		22：		
	08：熟語の構成		23：		
	09：同音異議語①		24：		
	10：同音異議語②		25：		
	11：類義語		26：		
	12：対義語		27：		
	13：四字熟語①		28：		
	14：四字熟語②		29：		
	15：四字熟語③		30：		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	月間テスト評価 100%				
準備学習の 内容	事前配布プリントを確認しておくことが望ましい。				

Syllabus

行政法律科

授業科目	Word 実習基礎	授業形態	演習	区分	必修
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	30	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。</p> <p>2. 図表などで情報を表現し、状況にあったビジネス文書を作成できる。</p>				
授業内容	回 01 : Word の基本操作 02 : ビジネス文書の基本ルール 03 : 社外文書の作成 04 : 社内文書の作成 05 : 様々な書式設定 06 : シンプルなレポートの作成 07 : 報告書の作成 08 : 表を使った文書の作成 09 : ワードアートを使った文書の作成 10 : 画像を使った文書の作成 11 : 図形を使った文書の作成 12 : SmartArt を使った文書の作成 13 : ビジネス文書の作成 1 14 : ビジネス文書の作成 2 15 : ビジネス文書の作成 3	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

行政法律科

授業科目	Excel 実習基礎	授業形態	演習	区分	必修
年次	2	時期	2 学期		
授業回数	30	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。</p> <p>2. グラフの作成と編集ができ、基本的な関数を利用することができる。</p>				
授業内容	回 01 : Excel の基本操作 02 : 数式について 03 : SUM 関数について 04 : 見やすく使いやすい表にする編集操作 05 : グラフの基本 06 : 目的に応じたグラフの作成と編集 07 : 複合グラフの作成 08 : 相対参照と絶対参照 09 : AVERAGE 関数について 10 : MAX・MIN 関数について 11 : COUNT 関数について 12 : ROUND 関数について 13 : IF 関数について 14 : IF 関数のネスト 15 : 集計表の作成	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

行政法律科

授業科目	体育トレーニング	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	0 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 トレーニングを通して心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p> <p>【概要】 トレーニングの理論を理解し実践できる。</p>				
到達目標	<p>1. 筋力トレーニングの理論を身に付ける。 1. 持久力トレーニングの理論を身に付ける。 3 自分の体力に合わせたトレーニングを実践できる。</p>				
授業内容	回 01：ストレッチ 02：ケガの予防 03：応急手当 04：ボディウエイトトレーニング上半身 05：ボディウエイトトレーニング下半身 06：体幹トレーニング上半身 07：体幹トレーニング下半身 08：有酸素運動 09：球技実習バレーボール 10：球技実習卓球 11：ダンス 12：救命講習理論 13：救命講習実技 14：救命講習効果測定 15：体力測定	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	名古屋市消防局「あなたが救える命のために」				
成績基準	体力測定会、救命講習の結果 70%出席率 30%				
準備学習の 内容	特になし				